



TFMT部会が発足いたしました

超高齢化社会に入口に立つ日本、医療情勢は変わりつつあります。現在ではチーム医療体制が確立され、多職種による連携必須となっています。今後は、在宅医療の推進、急性期医療の設計見直し、病院統合が進むこととなります。

臨床検査技師の職域や医療スタッフにおける立場はどのようになっていくと思いますか？ロボットやAIが検査現場に乗り込んできます。これからは、職域を守りつつ新たな臨床検査技師像を自らが構想していくのでしょうか。

ということで、岐臨技に、

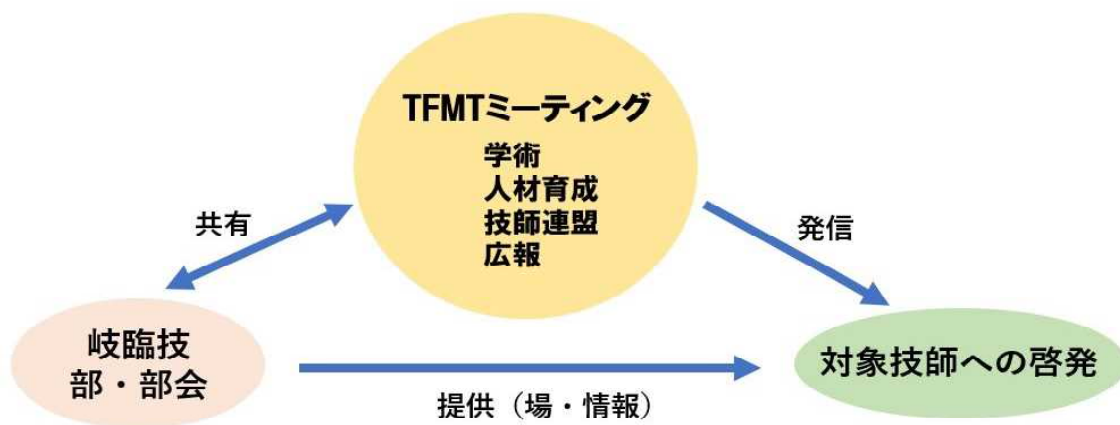
TFMT部会 (meeting to think about future Medical Technologist)

が立ち上がりました。20~30歳代の検査技師が、将来の臨床検査技師の在り方を構想し行動する部会です。

TFMT部会

(meeting to think about future Medical Technologist)

40歳までの技師が所属して将来の臨床検査技師の在り方を構想し行動する会



いかがでしょうか。

興味を持つ方、参加してみたい方、岐臨技事務所 (giringi-office@giringi.jp) までご一報ください。

今年の県学会は WEBで開催!!



このコロナ禍で令和3年3月15日(日)に予定の
第58回岐阜県医学検査学会は
Web によるオンデマンド配信形式で開催します!

- 【配信日時】 令和3年(2021年)3月初旬~3月21日(日)を予定
- 【参加申込】 専用フォームからの事前参加申し込みとなります。
参加申込み期日は令和3年2月1日~2月24日を予定しています。
- 【視聴方法】 参加申し込み後に発行された個々のID・パスワードで視聴
が可能です。
※インターネット環境が必要です。
- 【参加費】 無 料
- 【生涯教育】 視聴が確認された方に、専門20点を付与いたします。
- 【プログラム】 一般演題の発表のみ。10~20演題を予定しています。
教育講演、市民公開講演、ランチョンは行いません。
- 【抄録集】 抄録集は岐臨技HPに掲載するのみで
発行はいたしません。ダウンロードして閲覧してください。

*配信日時・事前参加申し込み・視聴方法については、
詳細が決まり次第 ご案内いたします!!

学会長 後藤 浩(JA岐阜厚生連揖斐厚生病院)
実行委員長 外川綱生(JA岐阜厚生連揖斐厚生病院)
事務局 松浦康博(メディック)
〒503-0944 大垣市横曽根3丁目2-8 (株)メディック
第58回岐阜県医学検査学会Web開催オンデマンド配信事務局 松浦康博
Tel 0584-89-7301(代表)
E-Mail ken-gifu@medic-grp.co.jp

まだまだ間に合う！ 県学会 演題募集!!

【演題募集】 臨床検査に関連する全ての分野

【内容】 | 演題発表6分 質問フォームは確認中

【演題申し込み】 演題名、氏名（発表者）、勤務先、住所、TEL、メールアドレス、演題の種類を記載して、演題申込期間内に演題・抄録送付先アドレスへ送信してください。

【演題申込期間】 令和2年11月23日（月）

～令和3年1月15日（金）

【抄録受付期間】 令和2年11月23日（月）

～令和3年2月1日（金）

※確認後、抄録のWordフォーマットを送信いたします。

※演題発表形式およびスライド作成の詳細につきましても同時にファイル添付させていただきます。

役員あいさつ part2



会計部部長
中濃厚生病院
玉置 和仁

コロナ禍により、学会の中止やZoomによるリモート会議等、全例を見ない状況の下での船出となりました。手探りのなか、これからの2年間務めさせていただきます。私は、技師会の活動として、他県で暫くの期間研究班活動をしていた経緯はありますが、岐臨技での活動は多くはありません。今後皆様の手助けやご協力のもと、会務に励んで行く所存です。宜しくお願い致します。



精度管理事業部部長
東濃厚生病院
武藤 延秋

本年度より精度管理事業部長を務めます。昨年度まで一部門の担当として精度管理事業に携わってきましたが、これからは岐臨技精度管理事業のまとめ役として引き続き携わらせて頂きます。就任早々、コロナ禍で事業開催が危ぶまれましたが、関係各位のご協力で何とか開催できました。今後とも精度管理事業にご理解とご協力よろしく申し上げます。

新型コロナウイルス検体採取について

JA岐阜厚生連 東濃中部医療センター
土岐市立総合病院 検査技師長 兼平昌彦

2019年中国武漢で原因不明の肺炎患者が発生し、2020年1月14日神奈川県で国内初の新型コロナウイルス患者が発生、2月5日クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」での感染確認。誰も想定していなかった病原体コロナウイルスが瞬く間に国内に万延しています。

東濃地区では土岐医師会・多治見医師会が協力し、4月30日より岐阜県ではいち早く病院併設での東濃地域 地域外来・検査センターを開設しました。

当院ではLAMP法を用い、これまでに1000件を超える検査を行い、およそ1500件を超える検体採取を臨床検査技師が行ってきました。

地域外来・検査センターでの一連の流れとして、

- ① 患者が病院に到着し電話をかける。
- ② 事務員が窓越しに保険証をカメラで撮影。
- ③ 検査場所への案内。
- ④ 検体採取。
- ⑤ 説明・帰宅。
- ⑥ およそ一時間から一時間半後に再び来院。
- ⑦ 結果説明。
- ⑧ 陽性の場合は保健所から連絡。



といった流れになります。患者との会話は採取する検査技師のみで、他はフリップボードにて行ってきました。これからは本格化していくインフルエンザ・新型コロナウイルスに我々臨床検査技師もが先頭に立って戦って行かなければなりません。

平成26年の法改正により平成27年4月1日から臨床検査技師においても検体採取が実施できることとされ、厚生労働省指定講習会を行い我々臨床検査技師も検体採取を行う機会を頂きました。これも偏に、先見の明が長けた宮島喜文先生をはじめ諸先輩方にご尽力を頂き心から感謝いたします。

発行所（一社）岐阜県臨床検査技師会

〒500-8384 岐阜市藪田南3丁目五番地10

コスタ岐阜県庁前603号

発行責任者 浅野 敦

編集者 市川 浩良 種村 久子

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220

E-mail giringi-office@giringi.jp